

令和元年度 学校評価

学校名 北海道おといねっぴ美術工芸高等学校

組織名	学校評議会
評価者	
学校評議員	

1 学校教育目標

- 造形体験を重ね、創造力を育成する。
- 基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める。
 - 個性を生かし、豊かな自己実現を目指す。
 - 自然に親しみ、情操を豊かにする。

2 本年度の重点目標

- (1) 基本的な生活習慣の確立と学習習慣の定着をめざす。
- (2) 確かな技術技能の定着をはかり、生徒一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 学校生活・寄宿舎生活をとおして、豊かな心と社会性を育成する生徒指導を推進する。
- (4) 3年間を見通したキャリア教育を推進し、自己実現に向かい取り組む姿勢を身につけさせる。
- (5) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し研修や実践を推進する。

※学校関係者評価基準 A=5：充分 B=4：適当 C=2：不十分 D=1：要検討

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価結果内容の適切さ	取組の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
教育目標	1 学校教育目標等について教職員の共通理解が図られている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の活用推進 ・職員評価制度の活用推進 ・職員研修の活用推進 	A (4.8)	A (5.0)	A (4.75)
	2 学校教育目標の実現に向けた取組が行われている。	A	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者とも評価が高く、好ましい状況にあると思われれます。 ・良好である。 						
学習指導	3 生徒の実態や学科の特色を活かした教育課程の編成に努めている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要に向けた教育課程の改善 ・授業改善の推進 ・学習習慣の確立 ・学習意欲の醸成 ・ICT機器の有効活用の検討 ・学力定着度合いの測定と学カケアの充実 	A (5.0)	A (5.0)	A (5.0)
	4 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに学習習慣の確立に努めている。	A	A				
	5 学習意欲を高め主体的に学ぶための教科指導の充実と、評価の工夫・改善に努めている。	A	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育の詳細は分からないが、新しい手法故にこれまでと違った問題が無い十分な留意を願う。 ・今年度から実施されている、e-ラーニング導入は期待ができる。効果検証の実施が望まれる。 ・良好である。 						
生徒指導	6 基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成を図り、生命と人間尊重の精神を育むように努めている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立 ・安全教育の推進 ・生徒理解の深化 ・教育相談の充実 ・子供理解支援ツールの有効活用 	A (5.0)	A (5.0)	A (5.0)
	7 自他の安全・安心を確保するための資質や能力を育てている。	A	A				
	8 一人ひとりの生徒を大切に、生徒理解に基づく指導の充実を図っている。	A	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の問題としてSNSなど、傍からは判りにくい状況があるので気になるところである。 ・本校は、若い先生が多いことが、むしろ強みなのではないだろうか。 ・良好である。 						
いじめへの対策	9 教職員、寮、家庭との連携を図り、未然防止・早期発見に向けた観察やアンケート、教育相談を推進している。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒観察、理解の推進 ・いじめ対応の組織的取組 ・寮との連携 	A (5.0)	A (4.8)	A (4.75)
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方々も大変気になる問題だと思う。様々な窓口の用意が重要だと思う。 ・改善の方策については、より具体的な方が良いのではないかと。 ・良好である。 						
学校行事・課外活動	10 学校行事の検討を通して活発な生徒会活動の推進と生徒の精神的成長を目指している。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・行事内容の改善充実 ・委員会活動の活性化 ・寮生会活動の活性化 ・リーダー研修の充実 	A (5.0)	A (5.0)	A (4.5)
	11 部活動の活発な活動を推進している。	A	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動、委員会活動、部活道、寮生活、全ての活動が充実というのが理想ではあるが、どれか一つ、或いはまた別の事でも、達成感や満足感があれば素晴らしいと考える。 ・良好である。 						

進路指導	12 自己を理解し進路について自ら考え積極的に行動できる生徒を育てる進路指導に努めている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 計画的進路指導の改善,推進 進路情報の収集 進路開拓の推進 情報提供の工夫と進路意識の醸成 インターンシップの充実 異校種・産学連携の推進 進路開拓の推進 進路の手引き、キャリア・スタートの活用 	A (5.0)	A (4.6)	A (4.75)
	13 地域連携を推進し、体験的、実践的な学習を通して望ましい勤労観、職業観を育成している。	A	A				
	14 生徒が主体的に進路選択ができるように情報収集・発信に努め、保護者・生徒・教師の相互理解を図っている。	A	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな努力に頭が下がる思いである。北大研究林ではインターンシップのみならず、進学希望者も含めいくつかのメニューが可能であるため、気軽に相談していただきたい。 良好である。 						
健康安全指導	15 健康保持への意識を高め、疾病予防、健康増進への態度を育てている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の工夫改善 安全教育の推進 教育相談の充実 関係機関との連携 	A (5.0)	A (5.0)	A (4.75)
	16 生徒の生命安全を第一に考えた防災意識の高揚に努めている。	A	A				
	17 生徒のメンタルケアに努め、安定した学校生活を目指している。	A	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> 実践的な避難訓練の実施など、積極的に行われていることに敬意を表す。 良好である。 						
研修	18 校内研修を推進し、生徒の実態を踏まえた指導に係る研修・研究を行っている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 実践的な校内研修の充実 研修成果の還元 	A (5.0)	A (4.8)	A (5.0)
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の研修が重要なことがよく理解できた。教育は、人相手の仕事であるため、日々現場の先生方の協力があったからこそ前進するもの。引き続きの努力を期待する。 良好である。 						
組織運営 保護者、地域住民等との連携	19 共通意識を図り、協働体制の強化に努め、明るく活気のある職場づくりを推進している。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 校内組織間の情報共有化 互いに話しやすい職場環境づくり 部活道指導等、働き方改革への対応の推進 P T A活動の充実 H P等情報発信の工夫改善 地域・保護者との連携の充実 70周年に向けた同窓会との連携の充実 	A (4.8)	A (4.8)	A (4.75)
	20 P T A活動・同窓会活動の促進に努めている。	A	A				
	21 学校の教育方針や教育活動について積極的に発信し、本校の教育活動への理解と協力が得られるよう努めている。	A	A				
	22 ボランティア活動や各種行事へ積極的に参加し、地域や家庭の期待に応えている。	A	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の「働き方改革」が推進されている中、過労にならないようお願いする。 良好である。 						

※自己評価 評価基準 A=5：充分である B=4：概ね充分である C=2：不充分である D=1：改善を要する

4 学校関係者評価におけるご意見等

- 自己評価が高く、心強く感じております。
 新学習指導要領への対応、高大接続改革における大学入試制度の混乱など大変ご苦労があると推察いたします。ただ、どのような状況においても、「基本的な生活」「学力基盤」が重要だと思います。月に一冊の本も読まない学生さえ珍しくない昨今ですが、たとえれば何か基盤が揺らいているような気がします。
 世の中の変化が早いとはいえ、生徒の全人的な意味での基盤づくり に資する教育が行われるようお願い致します。
- 寮を伴う専門高校として「いじめ」「防災対策」は問題が発生した場合、より深刻であり、具体的な対応策が必要である。
- 「働き方改革」に関しては、引き続き検討が必要だと思われる。
- 教職員の皆様方の日頃の努力に、感謝申し上げます。